

防災への備えを拡充 —PHEV と蓄電池を導入

災害時のより一層の非常用電源の確保を図るため、三菱自動車工業株式会社製アウトランダーPHEV の導入および蓄電池 205 台を指定避難所以外の町内会施設などに配備しました。なお、指定避難所（市有施設および町内会施設）には令和 3（2021）年に新潟県から貸与された蓄電池 282 台を配備しています。

1 導入内容および導入場所

- (1) 市役所本庁舎
 - ・アウトランダーPHEV 1台
 - ・蓄電池（容量：3,024Wh 株式会社 Jackery Japan 製）5台
- (2) 指定避難所以外の町内会施設など
 - ・蓄電池（容量：1,056Wh アンカー・ジャパン株式会社 製）200台

2 導入した物品の特色

- (1) 三菱自動車工業株式会社 アウトランダーPHEV
最大出力 1,500W の 100V コンセントを 2 つ備え、大半の電化製品が使用可能です。ガソリンを電気に変換することができ、バッテリー満充電かつガソリン満タンの状態から 1 週間程度給電使用可能です。
- (2) 蓄電池 2 種類
 - ア 株式会社 Jackery Japan ポータブル電源 3000Pro
AC 出力ポート 5 つ、Type-A ポート 2 つ、Type-C ポート 2 つを備え、スマートフォン充電を約 134 回、冷蔵庫を最大 108 時間、電気ポッドを約 3.5 時間使用可能です。
 - イ アンカー・ジャパン株式会社 AnkerSolix C1000 Portable Power Station
AC 出力ポート 6 つ、Type-A ポート 2 つ、Type-C ポート 2 つを備え、スマートフォン充電を約 65 回、扇風機を約 18 時間使用可能です。



アウトランダーPHEV



蓄電池 ア
(株)Jackery Japan
(容量:3,024Wh)



蓄電池 イ
アンカー・ジャパン(株)
(容量:1,056Wh)